

在宅ホスピスボランティアをご存じですか？

在宅ホスピスボランティアは、ホスピスチームの一員として
患者さんをご家族を支えます。

福岡県では、誰もが安心して望む場所で在宅療養を送ることができる地域づくりを目指しています。その一環として、在宅ホスピスに関する基礎知識や介護の方法、コミュニケーションのとり方、患者宅への訪問研修等の内容で「在宅ホスピスボランティア養成研修」を実施しています。当該研修やホスピスボランティアの活用について、関心がある方はご連絡ください。

在宅ホスピスボランティアとは？

かかりつけ医や訪問看護師、ヘルパー等と共にホスピスケアに関わるチームの一員として、住み慣れた家で最期まで過ごしたいと望む患者さんをご家族に寄り添い、在宅療養のお手伝いをするボランティアです。

ある高齢者世帯の看取りと 在宅ホスピスボランティア

93歳のAさんは85歳の奥さんと二人暮らし。1カ月前前から食事が摂れなくなり、徐々に体力が落ちていきました。奥さんは、このまま自然に家で看取りたいと望んでいましたが、高齢でもあり、介護に不安がありました。Aさんは徐々に動けなくなりましたが、朝夕ヘルパーを利用し、訪問看護師が毎日Aさんのケアをしてくれたので、奥さんは少し落ち着かれました。ケアマネジャーの薦めで、昼間、在宅ホスピスボランティアに来てもらったことで、奥さんは買い物や病院受診にも行け、暮らしを大きく変えることなく夫の介護ができ、Aさんも妻の負担を余り心配せずになりました。Aさんが自宅で穏やかに旅立たれた後、奥さんはボランティアとの日常的なおしゃべりや温かい労いの言葉に救われたとおっしゃっていました。

在宅ホスピスボランティアの役割

- ・見守り・・・自宅で患者さんが一人になるときの見守り
 - ・話し相手・・・話し相手、傾聴、代筆、本の朗読など
 - ・付き添い・・・外出や家族のイベントに参加時の付き添い
 - ・家族への支援・・・介護する家族の話の傾聴、精神的支援
- *上記の他に、家族へのグリーフケアやデイホスピスのお手伝いなど、在宅ホスピスに関わるさまざまな活動をしています。

在宅ホスピスボランティアの利用について

- ・在宅ホスピスボランティアはヘルパーではありません。介護保険サービスにおいてヘルパーが行う調理や掃除等の家事支援及び排泄や入浴介助等はできません。
- ・在宅ホスピスボランティアは、かかりつけ医や訪問看護ステーションから相談を受け、必要な支援の内容を話し合い、利用を希望される方のお手伝いします。
- ・ケアチームの一員として関わり、訪問記録をつけるなどして、チームのメンバーと情報を共有します。
- ・ボランティア活動を通して知り得たことや、個人情報は守秘義務を厳守します。

■在宅ホスピスボランティアに関するお問合せについては下記までご連絡下さい。

福岡県 保健医療介護部 高齢者地域包括ケア推進課 在宅医療係：092-643-3275

NPO 法人緩和ケア支援センターコミュニティ：092-834-6741